

第1章

被災状況と復旧支援

1. 発災と総合災害対策本部の設置

2	東日本大震災の概要	16
4	総合災害対策本部の設置	16
6	小川忠男前理事長インタビュー	17

2. 復旧支援活動

8	応急仮設住宅建設支援要員の派遣	18
10	応急仮設住宅建設用地などの提供	19
10	宅地危険度判定士の派遣	20

3. UR賃貸住宅の復旧と被災者への提供

11	UR賃貸住宅の復旧	21
12	現地調査団の派遣	21
13	UR賃貸住宅の提供	22

第2章

復興支援の本格化

1. 復興計画策定支援要員の派遣

派遣の概要	23
派遣職員の人選	
派遣に当たった課題・対応	24
実際に派遣された職員からのコメント	27

被災自治体から求められたUR職員の派遣  
(復興支援統括役 松田 秀夫)

復興計画策定等職員派遣先自治体 (平成26年4月1日現在)	28
覚書・協定の締結一覧	29

2. 復興まちづくり事業の始動

復旧から復興へ(平成23年度)	32
事業受託と工事着工(平成24年度)	33
復興事業の本格化と住宅・宅地の供用開始 (平成25年度)	34

Cover Story

200世帯の新生活が始まり  
復興は新たなステージへ

UR都市機構の震災復興支援において、宮城県女川町はとりわけ象徴的なエリアである。町から包括的支援の依頼を受け、平成24年3月に「パートナーシップ協定」を締結、平成24年4月に現地に事務所を開設し、平成26年4月現在、職員29人体制で、復興まちづくりをトータルにサポートしている。

女川湾を望む高台には平成26年3月、200戸の災害公営住宅が完成。被災した住民が隣接する仮設住宅などから引っ越して、新しい生活をスタートしている。大きな被害を受けた市街地でも、復興まちづくりを急ピッチで進めている。



撮影者 沖 裕之 (Blue Hours)

URの復興支援の特長(事業者としての復興支援)

3. 復興まちづくり事業支援手法

復興市街地整備事業	35
災害公営住宅整備事業	36
〈参考〉復興まちづくりに係る国の動き	38

4. URの技術力による復興の加速化

CM(コンストラクション・マネジメント)方式	39
発注者支援方式の導入	39
設計・施工一括発注方式(災害公営住宅)	40
災害公営住宅買取事業における技術支援	
復興の加速化に向けて(理事長代理 廣兼 周一)	

5. 復興支援体制の強化、宿舎・事務所の整備

体制強化と現地支援要員の推移	
宿舎・事務所の整備状況	

6. 震災復興支援の3年間を振り返って

震災事業の初期段階の「総括」が重要 (震災復興推進役 小山 潤二)	38
多くの方々への感謝と組織としての継承 (前宮城・福島震災復興支援局長 茂木 貴志)	39
持続するまちづくりを進め、地元経済を活性化 (前岩手震災復興支援局長 佐々木 功)	39
【コラム】 被災地産直品販売、Tシャツ、義援金など	40

第3章

復興まちづくり概要 (22自治体への支援事業)

42	<b>岩手県</b> [野田村] 村職員と机を並べてスムーズな事業進捗	66	[東松島市] あの日を忘れず ともに未来へ～東松島一心～
44	[宮古市] 森・川・海との共生を目指して～多重防災型まちづくり～	68	[塩竈市] 沿岸部や浦戸諸島 少ない平地で住宅建設
46	[山田町] 津波から命を守るまちづくり 碧い海とともに暮らす町	69	[多賀城市] 現地再建による復興まちづくり
48	[大槌町] 海に見える美しい町の復興へ	70	[名取市] いつまでも暮らしたくなるまちを目指して
50	[釜石市] 撓まず屈せず スクラム釜石のまちづくり		<b>福島県</b>
52	[大船渡市] 「災害に強いまち」へ早期復興	71	[福島県] 原子力災害避難者向け住宅 URが1000戸整備
54	[陸前高田市] 奇跡の一本松を復興のシンボルに海浜新都市の創造へ	72	[新地町] UR建設では福島県内第1号 着工から約1年で完成
	<b>宮城県</b>	73	[桑折町] 町唯一の災害公営住宅をURが建設
56	[気仙沼市] 津波死ゼロのまちづくり～嵩上げによる現地復興～	74	[いわき市] ～日本の復興を「いわき」から～がんばっぺ、いわき
58	[南三陸町] 志津川ならではのまちづくりに向けて	76	[須賀川市] 被災した公共公益施設の再建と復興を通じた中心市街地活性化
60	[女川町] 千年に一度のまちづくりを全面的にバックアップ	77	[鏡石町] 内陸部の震災復興を加速する全体事業計画策定
64	[石巻市] 最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を目指して	78	[大熊町] 原子力災害からの復興 4年後の帰町に向けて
			<b>資料編</b>
		80	事業年表
		85	終わりに

第1章

被災状況と  
復旧支援



被災直後の中心市街地